

一関地域の農林業



一関遊水地の風景

1 一関地域の概況

一関地域は、本県最南端に位置する一関市、平泉町の1市1町で構成され、南は宮城県、西は秋田県に境を接している。地形は、北上川流域の平坦部を挟んで、その東西は起伏のある中山間地域となっており、年平均気温は12.2℃で、特に1～3月の平均気温は県都盛岡市と比較して1.2℃高く、温暖な気候が特色となっている。

一方、一関市中心部を流れる北上川は、同市狐禅寺地区から南が狭窄部となっているため、過去に何度も大きな水害に見舞われている。現在は、市街地への浸水防止と流域耕地の冠水対策のため北上川遊水地事業が実施され、1,178haに及ぶ大区画圃場とともに周囲堤が整備されている。

2 農林業の概況と動向

(1) 農業構造

農家戸数は、12,311戸(H27)で、過去5年間で11.3%減少しており、特に兼業農家の減少が著しい。農業就業人口は、12,092人(H27)で、過去5年間で24.3%減少するとともに、平均年齢が68.7歳と1.6歳高くなり、高齢化が進行している。

耕地面積は、19,530ha(R元)で、前年と比較して100ha(0.5%)減少。うち水田は13,450ha、畑は6,154haで、水田比率は68.6%と県平均62.8%を上回っている。

一稲作経営体当たりの稲作経営面積は1.35ha(H27)で、農地の集約化が進んでいる。一方、所得確保のため露地野菜を導入する経営体が増えている。

(2) 農業産出額(推計)

① 農業産出額(推計)

一関地域の農業産出額(推計)は、325.0億円(H30)となっている。市町村別では、一関市が313.3億円と全体の96.4%を占め、平泉町は11.7億円となっている。

品目別では、米の産出額が、73.8億円で最も多い。

【平成 30 年品目別産出額】

単位：億円

市町村名	農業産出額	米	野菜	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	その他
一関市	313.3	66.5	24.6	50.9	22.4	59.6	66.6	22.7
平泉町	11.7	7.3	0.9	1.8	0.1	-	-	1.6
計	325.0	73.8	25.5	52.7	22.5	59.6	66.6	24.3

資料：農林水産省推計

(3) 森林資源の状況

一関地域の森林面積は、81,973ha で県全体の 7% を占めている。森林率は 62% と県平均の 77% を下回っている。国有林、民有林別では、国有林が 9,872ha(12%)、民有林が 72,101ha(88%) となっている。

民有林における人工林の面積は 32,554ha で県全体の 10%、人工林率は 45% と県平均の 42% を上回っている。

また、民有林における総蓄積は 21,984 千 m³ で、総蓄積に占める針葉樹の割合は 75% を占めており、ha 当たりの蓄積は 268m³ で、県全体と比較すると ha 当たり 109m³ 上回っている。

(4) 農業の推移（各年度末値）

① 米、麦、豆類

米の作付面積は、年々減少傾向にある。新品種「金色の風」の作付面積は、82.7ha と拡大した。麦、豆類は、水田の生産調整品目として団地化されて生産されている。

【水田における作付状況の推移】

単位：ha

	水稻	飼料用作物	麦類	雑穀類	豆類	他一般作物	永年作物	野菜・たばこ
H29	7,602	2,623	136	25	177	63	57	332
H30	7,550	2,591	136	25	160	60	55	316
R元	7,399	2,597	122	24	139	54	52	301

資料：一関地方農業再生協議会調べ

② 野菜、果樹、花き

野野菜はトマト、なす、ピーマン、きゅうりなど果菜類を中心に栽培されているが、栽培面積は減少傾向にある。価格が高騰した前年に比べ、令和元年の販売額は減少したが、販売量の維持増加により、一昨年と同様以上の金額となった。

果樹はりんご、花きは小ぎくを中心に栽培されており、近年の栽培面積は横ばいである。令和元年は、台風による出荷量の減少や、低温・日照不足による需要期から外れた出荷などにより、販売額は減少した。

【主要品目の栽培面積の推移】

単位：ha

	トマト	なす	ピーマン	きゅうり	ミニトマト	ねぎ	イチゴ	りんご	りんどう	小ぎく
H29	21.2	15.2	14.0	13.3	1.5	8.8	1.7	228.6	9.4	34.6
H30	20.6	14.5	14.3	13.9	1.5	7.8	1.7	227.8	9.4	32.3
R元	19.9	13.5	14.3	13.5	1.7	7.4	1.7	227.8	9.6	38.1

資料：JAいわて平泉調べ

【主要品目の販売額の推移】

単位：百万円

	トマト	なす	ピーマン	きゅうり	ミニトマト	ねぎ	イチゴ	りんご	りんどう	小ぎく
H29	397	239	306	249	40	44	51	174	61	283
H30	452	283	402	329	50	46	47	206	61	312
R元	377	272	348	262	37	37	53	178	52	262

資料：JAいわて平泉調べ

③ 畜産

肉用牛繁殖経営は、小規模農家を中心に担い手の高齢化や後継者不足により、飼養戸数・頭数が減少している。肉用牛肥育経営は、飼養頭数が増加しているが、素牛価格高騰を受け、厳しい経営環境となっている。

酪農は、担い手の高齢化や後継者不足などにより、飼養頭数が減少している。また、配合飼料高騰の影響で経営環境が厳しい状況が続いている。

豚及び鶏では、飼養頭羽数が減少している。

【家畜飼養頭数の推移】

単位：頭、千羽

	乳用牛		肉用牛				豚		鶏			
	戸数	頭数	繁殖		肥育		戸数	頭数	採卵鶏		肉用鶏	
			戸数	頭数	戸数	頭数			戸数	羽数	戸数	羽数
H29	124	2,750	971	7,426	48	8,180	17	90,701	115	421	57	3,012
H30	121	2,702	865	7,468	44	8,227	17	91,378	99	395	57	3,099
R元	122	2,229	788	7,097	40	8,431	11	89,872	124	300	63	3,083

資料：家畜飼養頭羽数調査（一関農林振興センター調べ）

④ 担い手と農村生活

地域農業の担い手を明確にする地域農業マスタープランが地域全域で策定され、集落型農業法人数が増加した。中山間地域において農用地の多面的機能を確保する共同取組を行う集落協定が締結されている。

【担い手と農村生活の推移】

	認定農業者数 (経営体)	集落型農業法人数 (組織)	新規就農者確保数 (人数)	産直(有人) 販売額(億円)
H29	846	21	12	15.0
H30	830	23	18	18.3
R元	822	24	24	16.1
	水田整備率 (30a以上)(%)	中山間地域		体験型教育旅行 受入人数(人)
		協定数	面積(ha)	
H29	40.9	324	8,789	1,647
H30		326	8,858	999
R元		327	8,888	1,085

資料：R元年度 一関市、平泉町、一関農林振興センター調べ

3 統計でみる一関地域の農林業

項目		出典
面積	131,981 ha	国土地理院(R元.7.1)
人口	129,451 人	H27国勢調査
総生産	4,007.3 億円	H29岩手県市町村民経済計算
市町村民所得人口1人当たり	248.8 万円	H29岩手県市町村民経済計算から算出
農業		
農家戸数	12,311 戸	農林業センサス(H27)
認定農業者数	822 経営体	一関市、平泉町調べ(R元)
農業就業人口(販売農家で自営農業として従事)	12,092 人	農林業センサス(H27)
耕地面積	19,630 ha	農林水産省平成30年作物統計(面積調査)
うち 田	13,450 ha	〃
うち 畑	6,186 ha	〃
1戸当たり経営耕地面積	1.06 ha/戸	農林業センサス(H27)
農業産出額(推計)	325.0 億円	農林水産省推計(H30)
1戸当たり農業産出額(推計)	242.5 万円/戸	平成28、29年第64次東北農林水産統計年報等から算出

項 目		出 典	
栽培面積	水稲	6,684 ha	平成30、令和元年第66次東北農林水産統計年報
	小麦(一関市分)	137 ha	〃
	大豆	228 ha	〃
	夏秋トマト	40 ha	〃
	夏秋なす	41 ha	〃
	ピーマン(一関市分)	20 ha	〃
	夏秋きゅうり	33 ha	〃
	りんご	257 ha	一関農林振興センター調べ(H30)
	小ぎく	38 ha	一関農林振興センター調べ(R元)
	りんどう	10 ha	〃
飼養頭羽数	乳用牛	2,229 頭	家畜飼養頭羽数調査(R元)
	肉用牛	15,528 頭	〃
	豚	89,872 頭	〃
	鶏	3,383 千羽	〃
販売額	米	41億6,700 万円	JAIいわて平泉(R元)
	麦類	1,690 万円	〃
	大豆	1,670 万円	〃
	トマト(ミニトマト含む)	4億1,445 万円	〃
	なす	2億7,162 万円	〃
	ピーマン	3億4,802 万円	〃
	きゅうり	2億6,196 万円	〃
	りんご	1億7,832 万円	〃
	小ぎく	2億6,195 万円	〃
	りんどう	5,218 万円	〃
	牛乳	13億9,310 万円	一関農林振興センター調べ(R元)
	肉用牛	12億6,052 万円	〃
	子牛	22億6,310 万円	〃
林業			
森林率	62.1 %	H30岩手県林業の指標	
森林面積	81,973 ha	〃	
国有林	9,872 ha	〃	
民有林	72,101 ha	〃	
県有林	3,941 ha	〃	
針葉樹面積	36,131 ha	〃	
広葉樹面積	32,615 ha	〃	
素材生産量(推定)	177,116 m ³	〃	

4 一関地域の農林業トピックス

集落営農組織の経営多角化の取組み

一関地域では、令和元年12月時点で39^(注)の集落営農組織が形成されており、法人化も進んでいる。

(注 JAいわて平泉集落営農組織連協協議会の集落営農の数)



大規模稲作経営の取組み

基盤整備を行った大区画ほ場では、大型機械や無人ヘリを使った鉄コーティング種子の直播等の先進技術を取り入れた低コスト稲作栽培が行なわれている。



地域統一ブランド「いわて南牛」

一関地域の統一和牛ブランド「いわて南牛」。その評価は徐々に高まっており、年間約500頭が東京市場を中心に出荷されています。



東北有数の小ぎくの産地

一関地域は東北有数の小ぎくの産地。8~9月を中心におよそ738万本が首都圏などの市場に向けて出荷されています。(R元販売額；262百万円)



一関地域の主力野菜

一関地域では、野菜の栽培が盛んに行なわれており、特にトマト、ピーマン、なす、きゅうり、ミニトマト等が園芸主要品目となっております。



(農)アグリ平泉の田んぼアート

一関遊水地内の(農)アグリ平泉の管理する圃場では、消費者交流による農産物や加工品のPRなどを目的として、「田んぼアート」に取り組んでいます。



一関地域の原木しいたけ

一関地域の原木しいたけの消費拡大に向けて、市内店舗での販売促進活動を展開しています。

